

令和7年度学校評価報告書

令和8年（2026年）3月16日

北海道教育委員会教育長 様

北海道豊富高等学校長

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

生徒の実態理解をさらに深め、基礎的基本的な学習内容の確実な定着を図るとともに、道徳性の涵養と社会性・協調性を育成するための教育活動を実践する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	高校入試の結果と高校入学後の諸検査等の比較をとおして、高校入学後の高い伸びが確認できるが、更なる向上のために生徒の基礎的・基本的な学力の定着と学習習慣の確立が必要である。	義務教育段階からの学力の伸びが認められ、概ね十分である。
改善方策	登校から授業開始までの時間を活用して、基礎的・基本的な内容の定着を図る取組を新たに進める。	
生徒指導	礼法や身だしなみ、言葉遣いなど、生徒の対人スキルの向上が必要である。また、携帯電話等の利用に係るマナーを十分に身に付けさせる必要がある。	概ね十分であるが、生徒に対して、校外での地域住民との挨拶を積極的に交わすなど、更に地域との交流を深めるよう指導してほしい。
改善方策	日常的な礼法指導を強化するとともに、スマートフォンの利用規程や制服の夏季略装期間を見直すなどして、社会で通用する生徒の育成に努める。	
進路指導	進路指導に関するガイドブックやキャリアパスポートなどの使い勝手を高め、生徒自身によるキャリア選択の取組に関する充実を図る必要がある。	概ね十分であるが、地域へのアピールとしては難関大学への進学者が現れることを期待している。
改善方策	生徒の端末から容易にアクセスできるよう進路関係資料の電子化を進めるなどして、進路情報に接する機会の着実な増大を図る。	
公表方法	本校ホームページ上で公開するとともに、学校運営協議会委員やPTA役員、豊富町教育関係者に配付する。	

3 添付資料

令和7年度 学校評価（まとめ）